

次期文化芸術推進計画素案に対する意見対応シート

1 第7回検討協議会分

(1) 計画の推進に向けて（第5章）

項目	主な意見	対応方法
全体	○施設名はこれまでも出てくるが、5章の中心になるため、改めて文章に入れる方が良い。	○修正する。
推進主体の記載	○28ページ推進体制の5行目に、「美術館・博物館・音楽ホール・劇場」のように文化芸術に関する施設を入れた方が見る側は分かりやすい。多様という意味でも、ここに入れたい。	○修正する。
多様の表現	○6行目の「文化芸術に関わる多様な・・・」の「多様」は、「多種多様」の方が適しているのではないか。文化芸術は多種多様なメンバーを対象にしているので、期待感や変わることが伝わると良い。ジャンルを超えた連携の促進、文化芸術活動の情報共有など、これまでと少し違うというような一文を入れてはどうか。	○修正する。
ネットワーク会議の役割・名称	○「府中市文化芸術推進ネットワーク会議（仮称）」という名前でも十分伝わるが、「府中文化推進チーム」や「プロジェクト府中」など、名称に遊び心があっても良い。新しい人がメンバーに入ってくるならば、覚えやすく活動的な名称が良い。 ○ネットワーク会議で進捗管理をどこまで担ってもらうのか、どのような場にするのかなどを確認しておく必要がある。 ○28ページの図は、会議の参加者を表しているのか、それとも推進体制の相関図なのか。会議の参加者であれば、なぜ矢印があるのか。会議の名称	○推進体制と会議体を整理し、28・29ページでは推進体制を説明し、30・31ページの進捗管理のところでは「府中市文化芸術推進ネットワーク会議（仮称）」を説明することにした。

項目	主な意見	対応方法
	<p>について、チームがいいのではないかという意見があったが、コミュニティなどの柔らかい言葉でも良いのではないか。会議だと固い印象を持った。</p> <p>○名称をどうするかは別としても、ネットワーク会議は、広く色々な団体に参画してもらい、お互いに連携し、影響し合いながら、文化や芸術を使って府中市を豊かにする取組を一緒にやってくれる人達のイメージだ。そこに関わってもらう人達は様々な分野があり、重み付けが難しい。</p>	
<p>体制図の表現</p>	<p>○ネットワーク会議イメージ図の矢印の大きさ・色の違いが意味するところや、矢印の中身を記載すると、分かりやすいのではないか。市内企業は具体的な名前を入れるのか。図の中に各主体の中身についての説明があってもいいのではないか。</p> <p>○今までやってきた連携を明確に示したいということであれば、他と同じオレンジの矢印でも良いのではないか。それよりももっと強いパートナーシップ的役割を担ってほしいという意味であれば、そのような文言を入れることも検討していただきたい。</p> <p>○28ページの図だが、府中市が左の方が良いのではないか。府中市があって府中文化振興財団があると思う。また、この2つの組織間の連携・協力は当然であるため、矢印はなくても良いのではないか。オレンジの矢印は、中央の市民・芸術家・文化芸術団体等と周りの全ての主体がつながることが分かるように、同じ大きさの矢印で示すと良い。</p> <p>○矢印の大きさは色々な捉え方をされるため、工夫するとより伝わりやすくなる。</p> <p>○同じく指定管理者であるNPO法人エンツリーや五藤光学研究所も外れている。それらも不公平という問題になる可能性もあることを指摘したい。</p>	<p>○修正する。</p>

項目	主な意見	対応方法
	<p>○ネットワークの中に子ども達がない。小中学校の先生方も入ってほしい。小中学校が入ってくると自由度が広がる。</p>	
文化財団の位置づけ	<p>○府中市と府中文化振興財団の関係は、市の文化施策を受けて府中文化振興財団が動いているので、一体であるという意味で「+」なのではないか。全体の活動をここが支えている立場だと思う。支える公のイメージがあった方がよい。</p> <p>○指定管理制度を導入している施設と直営の施設の違いが図の中で表現されているかという点、ずれがある。他にも、市とのつながりの強いまちづくり府中などは、本質的なところと市民が持っているイメージとの間に齟齬があるのではないか。この図では色々な立場の団体が入り混じっていると感じた。文化芸術推進の底支えとして府中市があり、そこに色々な人や団体がつながっていくのであれば、ネットワーク会議は情報交換や新しい出会いの場として面白いものになると思う。府中市と関係団体を中心になって底支えすることが分かるように整理してほしい。</p> <p>○府中文化振興財団はコアであると言っているが、全部同じ力関係でも良いのではないか。これまで連携してきた団体をコアにしつつ、皆と対等に連携することが今回の目的だとすれば、あまり財団に重点が置かれるのは良くないのではないか。</p> <p>○今の図の府中文化振興財団は、期間限定で指定管理を受けているだけの団体だという見方をされかねない。未来永劫、指定管理者を府中文化振興財団に任せるように見えるため、管理委託制度の中の旧式の状態にも見えてしまう。これから新しい指定管理者の選定する施設があるかもしれないが、その際にこの計画を持ち出して、市はこのような考えで財団を選定するの</p>	<p>○府中文化振興財団は、施設の指定管理者というだけでなく、本市の文化芸術を振興する目的で設立されていることから、本計画では、市と共に、市民等による文化芸術活動を支える役割を担う存在として府中文化振興財団を位置づける。</p>

項目	主な意見	対応方法
	<p>かと意義を唱える人が出てくるかもしれない、異議があった時のことを考えておきたい。</p> <p>○他の自治体では、非公募であった指定管理が公募になることもある。外郭団体が指定管理者として優れているのか、ある分野については優れているが指定管理者としては向いてないのか、そのような評価が行われていない場合もある。外郭団体を市の文化芸術を推進していく上で重要な団体と認め、パートナーとして一体的にやっていくような自治体もあるが、むしろ少数だ。府中文化振興財団はどうかという話は、今までこの委員会で話していなかった。ここの表現は微妙で難しい。まちづくり府中や市民活動センタープラッツなど、これから関わってもらいたい団体と同じ比重とする時に、どのような表現が良いのか。</p> <p>○29ページに府中文化振興財団にアーツカウンシル機能を担わせるという表現がある。その機能を活用すれば、市民や団体の生きた声を反映した評価指標が生まれるのではないかと。とても難しいが、数字での目標値よりも、今困っていることや改善されて良かったという声を吸い上げることが今後の目的になるのではないかと。</p>	
府中市の位置づけ	<p>○28ページの図は、例えば市民活動団体等を府中文化振興財団は直接矢印でつながっていないため、直接の連携ができないように見える。府中市を中心にして、文化芸術を橋渡しする絵でも良いのではないかと。府中市と市民・芸術家・文化芸術団体等を入れ替えた方がしっくりくるのではないかと。4ページの計画の位置付けの図との関連を考えつつ、入替えが成り立つか検討してほしい。</p> <p>○府中市を中心と書くと行政が中心で動いているように見えるが、それで良いのかという考えもある。文化芸術を推進していくことが目標なので市民・</p>	○今回の文化芸術推進の中心は市民・文化芸術団体として見せたいため、府中市をはじめ、各主体が市民や文化芸術団体等を囲み、共に文化芸術活動に取り組むイメージ図とする。

項目	主な意見	対応方法
	<p>芸術家・文化芸術団体等を中心に置いているのではないか。一方で、行政が役割を果たさなければならないという考えもある。今までやってきた下支えや環境整備だけではなく、つなぐという役割を果たしてほしいということを明確にするのであれば文章でも書いた方がよい。ネットワーク会議は、行政に言いたいことだけ言って動かない人たちが集まっても困る。みんなが動いてくれるという前提の中で、行政の役割を明確に書けるとよい。色々な人達が集まって来てくれて、ワイワイ話すイメージだと思うが、今の図ではそのように見えないので、説明や絵の描き方を検討してほしい。</p>	
<p>他分野等との連携（開かれた会議）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ネットワーク会議のイメージ図には、国際交流関係、観光振興関係の団体などもあった方がよい。施設を利用している側の立場と運営側の立場では見方が異なると思われるため、施設を運営している側にも参加してもらった方がよい。 ○国際交流や観光の視点はどこかに入れた方がよい。 ○多様性や共生社会につながるものが一つの目標であったと思うので、観光協会や社会福祉協議会などもう少し具体的に記載することで広がりを持たせてもよいのではないか。 ○今の進捗管理のイメージなどを見ていると、閉じた会議に見えてしまう。今後、色々な人達を巻き込むことをイメージできる文章や図があるとよい。 ○デザインは難しい。閉じたいわけではないことをどう表現するか。連携の要素は出てきたので、次は、どのように私達の意図に合った文章やデザインにするかだ。どのようにして国際交流、観光、社会福祉協議会等とのつながりを作るのか検討していく必要があるのかもしれない。 ○国際交流、観光、社会福祉協議会の話があったが、庁内の色々な課との連携も成功の肝になる。そこを図でどのように表現するか。29ページには 	<p>○修正する。</p>

項目	主な意見	対応方法
	<p>文章で書かれているが、図の中にあっても良いのではないか。また、この図が推進のためのプロジェクトを表しているのであれば、国や都、他自治体といった外との連携をどう書くか。</p>	
<p>主体の役割</p>	<p>○ 29ページでは、主体や役割が分かれており、市と府中文化振興財団の関係性があまり伝わってこない。本文には「地域振興や教育、福祉、環境など多様な部門が連携しながら」との記載があるが、それぞれの組織や管轄の説明があると分かりやすい。</p> <p>○29ページの府中市の「多様な部門の連携」については、市民協働や国際交流、観光なども追加できないか考えてもらいたい。もっと色々あるだろうと思った。</p>	<p>○多様な部門について、追加する。組織や管轄の名称ではなく、分野を記載する。</p>
<p>市内企業の役割</p>	<p>○市内企業については外出しの注釈で簡単な説明があっても良い。</p> <p>○企業には、どのように関わってもらうのか。寄附してほしいということか。</p> <p>○市内には様々な企業があり、地域のお祭りを支援する事業者もあるため、そういう事業者からの寄附などが文化芸術活動に重要な役割を果たしている。メセナ的な形ではなく、新たな形で関わっていただきたいという考えが、「貢献することが期待される」という文章になっていると捉えた。</p> <p>○市内企業を広い概念で捉えても良いのではないか。例えば、大國魂神社は企業ではないが、府中市にとって重要であり、歴史的な活動につながっている。他にも、寺社仏閣・庭園など文化財的なものとの関係性が計画の中に含まれているので、もう少し幅広く捉えられると良い。市内企業と表現すると、どうしてもメセナ的な感じが出てしまう。</p> <p>○市内企業というのはもっと小さな事業者のイメージがあったが、大企業に期待しているということであれば、イメージが変わってしまう。中小企業・事業者でも、社会貢献、サステイナブルな活動をし、地域や市民とつなが</p>	<p>○市内企業の役割について、大企業、中小企業、個人事業主だけでなく、寺社等の各種法人等も含まれることを各主体の役割の中で説明する。</p>

項目	主な意見	対応方法
	<p>りを持ちたがっている企業はある。助成金を出しているような大きな財団もあると思うが、どうすればつながれるのか分からず困っている地域に根付いた事業者がネットワーク会議に入れば、相互に良い関係性を築けるのではないか。</p> <p>○構成要素をどのようにイメージしてもらうかは意識する必要がある。他にも、日常的に企業から応援してもらうためには何が必要か。</p>	
進捗管理	<p>○「府中市文化芸術推進ネットワーク会議（仮称）」をどのように具体的にやっていくのか、スタートのところで計画をどのように浸透させていくかを考えた方が良い。計画のお披露目を令和8、9年度にどのようにするのも市で考えてほしい。</p> <p>○30ページの進捗管理は、年2回程度の情報共有でチェックや次のアクションが出せるのか。試みは面白いが、この会議の中で市の施策に対して成果や課題を見つけるのは難しいのではないかと感じた。</p>	<p>○計画の周知方法については順次検討する。</p> <p>○評価指標の検討結果を踏まえ、市としての成果や課題感を把握できるような運用方法を検討する。</p>

(2) 評価指標について

項目	主な意見	対応方法
総合計画と連動した目的・目標の設定	<p>○現行計画でやっている施策がどうなっているのかというつながりが見えない。目的・目標がここがないが、それで良いのか。総合計画の基本施策に基づいた考えが見えない。アウトカムも目的・目標・数字がない。計画が策定されても指標がしっかりしていないと絵に描いた餅になる。目標・目的をはっきりさせた方が良いのではないか。令和7年度から第7次総合計画の後期が始まるが、その内容を網羅しているのかが見えない。目標を立てると、それがマニフェストになり、PDCAにつながる。</p> <p>○前提として、市の総合計画に沿って動いている。資料4は、今作っている計画の目標や成果を整理した物である。</p>	<p>○本計画の基本理念は総合計画に沿った内容となっていると認識している。</p>
目標数値の設定	<p>○指標を定め、基準値や目標をガチガチに決めるのは難しいのではないか。</p> <p>○最近はこのような指標があるのが当たり前のようになっているところがある。</p> <p>○定期的に皆の意見を聞くことが成果であり、その意見を成果物としてまとめる方が有効ではないか。</p> <p>○基本施策4の「つむぐ」について、アクションで「文化財の保存、整理、活用、美しい自然、歴史的景観の保全・整備」「文化芸術によるにぎわいの拡充」とあるが、既に具体的なターゲットが明確になっているので、もっと具体的に明記することも可能である。そうすると目的や達成度も明確になるのではないか。けやき並木の保存を踏まえた活用がこの計画の中でも重要なポイントになるし、内藤家住宅は中心の賑わいを西にも広げる意味がある。成功例として、熊野神社古墳の市民協働による活用がある。</p>	<p>○「第7次府中市総合計画後期基本計画」に掲載されている指標については、毎年度数値の状況を確認し、本計画の進捗管理の参考とする。</p> <p>○基本施策別や施策全体の指標について、31ページでまとめて掲載する。また、「例えばロジックモデル等を活用しながら、アウトプット・アウトカム・インパクトの視点を取り入れ、「府中市文化芸術推進ネットワーク会議(仮称)」と連携して進捗状況を評価・管理して」いくことを記載する。</p>

項目	主な意見	対応方法
	○行政が公金を使って文化芸術推進施策をやっていくための根拠が必要であり、毎年度予算を付けて実施する時に、成果が見えた方が次の説明がしやすい。割り切って考えることもあり得る。	
「幸福度」の表現修正	○インパクトの欄のところの「幸福度を感じる」という表現は、「幸福感を感じる」の方が良い。	○修正する。
アンケート調査	<p>○アンケートの聞き方で結果が変わってくるのではないかな。</p> <p>○毎年行っている市民意識調査などを使って数字を把握しておくのも手だと思う。それで増減を捉えていけば良い。</p> <p>○アンケートは、どういう回答を望んでいるのかで書き方が変わってくる。例えば「1年間のうち文化芸術活動を行った人の割合」は、文化芸術活動をもっと広く捉えてもらえるようになれば、割合が増えるのではないかな。</p> <p>○置きっぱなしのアンケートを廃止し、対面でのアンケートの満足度を評価にしている美術館もある。アーツカウンシル的な機能を働かせ、参加者の意見を長く吸い上げる仕組みを府中市でも考えればよいのではないかな。</p> <p>○計画の中で府中市が新しい試みをやっているということが、評価につながっていくのではないかな。対面で意見を聞いてみるなど、どのような手段で課題を解決していくのかという点が重要なのではないかな。</p>	○ネットワーク会議を活用するなどして、当事者からの意見を吸い上げる形を検討する。
ネットワーク会議での検討（参加型評価）	○評価は「府中市文化芸術推進ネットワーク会議（仮称）」が考えれば良いのではないかな。コアで一生懸命やる人たちが集まると、色々な人が巻き込まれていく。ただ、閉鎖的になってくると、中心になる人達が決まってしまう入りにくくなるため、そのコントロールが難しい。定期的に皆の意見を聞くことが成果であり、その意見を成果物としてまとめる方が有効ではないかな。29ページに府中文化振興財団にアーツカウンシル機能を担わせる	<p>○ネットワーク会議で参加型評価を取り入れる。</p> <p>○指標（数値）については先述のとおり、目標値として設定するのではなく、参考値として共有するものとする。</p>

項目	主な意見	対応方法
	<p>という表現がある。その機能を活用すれば、市民や団体の生きた声を反映した評価指標が生まれるのではないか。</p> <p>○参加型の評価に関わる人達にどのような成果があるか分かる方が良い。関わってもらった人達に成果を聞いてまとめていく方が次につながるというはあるので、何かしら仕込んでいくことも一つの手ではないか。</p> <p>○中長期のアウトカムは唐突な感じがした。ネットワーク会議で意見を聞くのであれば、ここで枠を作らず流動的にしておいた方が、次のアクションにつながるのではないか。</p> <p>○一概に数値で評価することは文化には合わない。評価についてはネットワーク会議が中心になると思うが、関わっていない段階で評価ができるのか。ロジックモデルができて同じではないかと想像してしまった。それぞれがやっていることに対して、どのような成果や課題があり、今後どのようなアクションをするのかといった、これまでの軽観測の蓄積を共有するネットワークができることはとても面白いが、評価することになったときにその面白さが失われる。</p> <p>○ネットワーク会議が行政のやっている事業を評価するということだが、社会が変わるきっかけを作るのは行政の計画であり、それを評価する時にこの指標で良いかと考えると違和感がある。進捗がはっきり分かる事業はそれでも良いのかもしれないが、新しい試みについては新しい評価方法を取り入れてみても良いのではないか。</p>	
アプローチの方法	○資料4の「はぐくむ」のアウトカム指標が気になった。「文化芸術関係のクラブ活動、習い事等をしている18歳未満の子どもがいる市民の割合」については、アンケート内容が局所的過ぎてもったいない。ここは、ミクロ・	○ネットワーク会議の中でアプローチ方法をあわせて検討する。

項目	主な意見	対応方法
	<p>マクロのレベルでどんな活動が増えたのか、子ども達がどのように親しめたのか、多角的なアプローチがどれだけあるのか、といったような、この計画によってアプローチがどのように広がったのかを捉えた方がアウトカムに紐付いた指標になるのではないかと。そこを知ることで、自分が関わる時にも発見があり、次につながるのではないかと。</p> <p>○アプローチの広がりを捉えるという考えがしっくりきた。行政が、どう関わり、どうアプローチし、どのように波及して効果につながったのかということが見える方が納得感を得られ、成果があればもっとやった方が良いという話になるのではないかと。数値でしか表現できない行政の問題もある。文化芸術施策の重要性の説明をどれだけ行政が引き受けてやっていくつもりなのか。</p> <p>ただ、指標がないことで何もやっていないように見えるのも困る。目標値と一緒に考えると堅苦しくなる。例えば、今年度の入場者数が減った場合に、なぜ減ったのかを考えるきっかけになれば良い。</p>	

(3) その他

項目	主な意見	対応方法
ネットワーク会議の具体的な内容	<p>○ネットワーク会議は新しい試みであり、事業としてこの会議をやるということが肝なので、23ページに事業として記載する。それを追加で書き加えると良いのではないかな。</p> <p>○やるのであれば、ゲスト講師など目玉を作ることが大切だ。芸術文化の概念を広げることも会議の役割になる。例えば、食文化や建築文化などの一般的には文化と意識されない分野のゲストスピーカーを呼んで話をしていただけ、そこでインスパイアされてマッチングするなど、仕組づくりがなければ長続きしないのではないかな。</p> <p>○他の事例を学ぶことで、成功するネットワーク会議を府中ではできないのではないかな。コアの人が集まったときの開き方が課題かもしれない。皆さんは財団を信頼されているが、ある自治体では、財団がやっていることは今の時代に合わないため、文化行政のコアにするのはおかしいのではないかな、という意見が出た。財団の重要性を一緒に理解してもらい、財団にも自分達のやり方を見直すきっかけになるような会議になれば、上手く設えることは難しいが、楽しいものになるかもしれない。</p>	<p>○今後ネットワーク会議を構築していく中で検討していく。</p>
コーディネーターの存在	<p>○成功例を作ってもらえれば良い。それぞれの団体には、仲介する人やプロデュースする人は多数いる。</p> <p>○コーディネートし、仲介する人は重要だが、その人が一人だけで活動しても駄目。</p>	<p>○今後ネットワーク会議を構築していく中で検討していく。</p>

2 第6回検討協議会 保留分

該当ページ	該当部分	修正内容	対応方針
7 ページ	さらには、郷土の森博物館や府中の森芸術劇場の改修工事や運営における様々な工夫、情報発信の強化など、文化芸術を支える環境の整備にも取り組んでいます。	「様々な工夫」が抽象的すぎて具体的にどのような工夫がなされているのかわかりにくい。バリアフリー化、省エネ設計等、具体的に様々な工夫をしている印象を持てる例も示しながら文章を校正した方がより良いのではないか。	○「さらには、施設の老朽化対策として郷土の森博物館や府中の森芸術劇場の改修工事を行うとともに、誰でも利用しやすい文化施設を目指した運営や、情報発信の強化など、文化芸術を支える環境の整備にも取り組んでいます。」と修正した。
31 ページ	(施策目標) 府中市史編さん事業による刊行物の発行点数(種類)	マンガなどいろんな人が親しみやすく、手軽に読めるものだと良い。	○評価指標を変更した。
19 ページ	市立小中学校全校に対して、美術作品(絵画、彫刻など)の鑑賞機会を設け、子どもたちの美術に対する関心を高め豊かな情操を養うとともに、観覧時のマナーを学び、また、主体的な鑑賞態度を育てます。	市立小中学校全校に対して、美術作品(絵画、彫刻など)の鑑賞機会を設け、子どもたちの美術への関心を高め、豊かな感性や創造性を育むとともに、鑑賞を通じて多様な表現を理解し尊重する姿勢を培います。	○修正済
19 ページ	博物館活動に関心のある市民にボランティアとして登録してもらい、様々な分野での活動を通して学習意欲やコミュニティ力を高め	博物館活動に関心のある市民にボランティアとして登録してもらい、様々な分野での活動を通して学習意欲やコミュニティ力を高める	○修正済

	るとともに、能力を活かした博物館活動を推進します。	とともに、 各自の経験やスキルを活かした 博物館活動を推進します。	
16 ページ等	写真	美術館でのワークショップの写真、文化センターでの取組の写真を追加してはどうか。	○計画を作成する際に最新の事業写真に変更する。
31 ページ	(施策目標)「市民文化の日」の来場者数(人)	「市民文化の日」の来場者数ではなく、認知度にするのはどうか。	○評価指標を変更した。